

日 時 令和4(2022)年3月22日(火) 午前10時～11時30分

会 場 柏崎市立図書館 2階 多目的ホール

出席委員 三井田会長、田村副会長、本間委員、松田委員、阿部委員、丸山委員、関原委員、野村委員  
(8人)

事務局 平田館長、小林館長代理、大木係長、田村主任

## 1 開会あいさつ(会長)

会 長 令和3年度も新型コロナウイルス感染が止まらず、図書館も様々な対応を迫られる1年であったと推察する。そのような中、今年2月に「柏崎の花—Spring Collection—」を開催した御苦労に敬意を表す。本日は、令和3年度の事業報告と令和4年度の事業計画を中心に御審議いただきたい。

## 2 報告・協議

### (1) 報告事項

- ア 令和3年度(2021年度)事業報告について(中間)【資料(1)ア】
- イ 新型コロナウイルス感染症の対応について【資料(1)イ】
- ウ 子ども読書活動推進計画の進捗状況について【資料(1)ウ】
- エ 「柏崎の花—Spring Collection—」の実施報告について【資料(1)エ】
- オ 令和4年度(2022年度)予算の要望概要について【資料(1)オ】
- カ 利用者の意見要望及び対応について【資料(1)カ】
- キ その他

会 長 2 報告・協議(1)報告事項ア、イについて事務局から報告をお願いしたい。

事務局 ア 令和3年度(2021年度)事業報告(中間)【資料(1)ア】について説明。

学校との連携・支援の中の子ども司書養成講座は、新道小学校で6回開催予定のところ1回中止となったが5回の講座を行うことができた。また、学校紹介展示として、昨今の看護師不足を受けて国保医療課と連携し、新潟病院附属看護学校のコーナーを学習室内に設けてPRを行っている。

ブックスタート事業の中では、ふれあいブックスタートを今年度から開催し、絵本や読み聞かせについて直接説明等を行う場をつくることができた。

展示会、読書イベント・講座等の開催の中の絵本・こどもフェスタ2021では、数回の延期を経て、2年越しで人形劇「オズの魔法使い」を開催することができた。1階特設コーナーについては、図書館には非常に多くの方が来館されるということから外部からの依頼も多い。情報発信の場として重要な展示であると考えている。

空調設備改修工事では、新潟県の特別警報に伴う臨時休館中に工事を進め、貸出期間の延長や貸出点数上限の拡大を行うなど、利用者への影響を少なくすることができたと考えている。

続けて、イ 新型コロナウイルス感染症の対応【資料(1)イ】について説明。

会 長 (1)報告事項のア、イについて、御質問・御意見等があればお願いしたい。

委 員 なし

会 長 続いて、(1)ウ、エについて事務局の説明をお願いする。

事務局 ウ 子ども読書活動推進計画の進捗状況【資料(1)ウ】について説明。

柏崎子ども読書プラン推進会議を市役所内の読書に関係する課（子育て支援課、保育課、文化・生涯学習課、教育センターを含む学校教育課、教育総務課、図書館）で組織して進めてきた。

広報については、全体を通して継続して進めることができた。児童クラブから「絵本で子育て」推進ポスターが古くなったため新しいポスターに張り替えたいという要望もあり、広報活動が定着してきたと感じている。

学校との連携では、学校読書支援員が引き続き小学校を巡回した。中止となったこともあったが、小学校からはコロナ禍の対策等が大変な中でも支援員を受け入れていただき、支援を継続することができた。満足度調査では、どの学校からも良い評価をいただいた。また、特設コーナー等で、小学校の授業の成果を発表していただく機会が数回あり、多くの方から学校の活動を知っていただくことができた。柏崎高校とのレファレンスの連携も引き続き実施することができた。今年度は、柏崎高校がスーパーサイエンスハイスクールとして作成した課題研修の論文集にも図書館との連携の内容が記載されていた。

イベント・研修では、コロナ禍であっても何ができるのかを考え、対策を十分に行いながら少しでも実施する方向で取り組んできた。

続けて、エ 「柏崎の花 -Spring Collection-」の実施報告について【資料（1）エ】について説明。

会期中は、休館日を変更して休みなく行うことができた。花にまつわる各種展示のほか、関連イベントも行い盛沢山の内容となった。のべ2,102名と大勢の方から来場していただき、アンケートでも「柏崎の文化に改めて触れることができた」「また開催してほしい」等、良い感想をいただいた。また、柏崎公式YouTubeでは、ダイジェスト動画をご覧いただけるようになっている。

会 長  
委 員  
会 長  
事務局

(1) ウ、エについて、御質問等があればお願いします。

なし

次に、(1) オ、カ、キについて、事務局の説明をお願いします。

オ 令和4年度（2022年度）予算の要望概要について【資料（1）オ】について説明。

基本方針や重点事業は、昨年度と同様である。新規事業として、今年度は受変電設備の入替改修と事務用電話設備の入替を行う。

事務局

カ 利用者の意見要望及び対応について【資料（1）カ】について説明。

令和3年6月から令和4年2月までで13件の意見要望をいただいた。内容を分類すると、当館の感染症対策に関する不満や提案が7件、利用者のマナーに関する苦情が2件、サービスに関する苦情や提案が3件、感謝の言葉をいただいたものが1件となっている。

感染症対策については、今後は社会の流れとともに、当館の対策も制限を無くす方向になるのではないかと考えている。学習室の席が少ないという御意見をいただいたので、その後、2階ロビーの学習席を1列から2列に増やして対応した。

続いて、キ その他について説明。

入館者数【資料(1)キ a】は、今年度2月までの入館者数の合計が219,384人であった。2008年度には491,481人の入館があった。以降、徐々に減少してきたところだが、2020年度にコロナ禍により一気に減少した。今年度は、昨年度より多くなる見込みではあるが、一昨年度に比べると10万人減少している。

次に、小さな絵本館サバトコーナーの設置について【資料(1)キ b】、昨年12月に小さな絵本館サバトの絵本に触れることができるコーナーを設置した。昨年9月に23年間の活動を終了した「小さな絵本館サバト」の蔵書約4,250冊が柏崎市に寄贈されたことに伴い、サバトで23年間大切にされてきた絵本を後世につなげていきたいという思いを込めて、

その蔵書の一部約 500 冊を当館の 1 階えほんのへやに設置したものである。館外への貸出しはできないが、誰でも自由に手に取って絵本を読むことができるようになっている。

会 長 (1) オ〜キについて、御質問等があればお願いします。

委 員 入館者数の減少について、今、本離れが進み、本よりもインターネット等で知識を得るという人が増えていると思うが、コロナ禍以外の原因をどのように捉えているか。

事務局 コロナ禍以前から、入館者数の減少については大変な問題であると考えていた。その原因は複合的であり、本離れやインターネットの普及のほか、この施設の魅力度が下がってきたということもあると思う。開館当初は 80 万人くらいの入館があったと聞いている。我々の努力不足が大きいと思っている。図書館の一番の魅力は資料であり、資料の魅力を十分に発信できていないことが反省点である。今後、働き盛りの方や中高生など、あまり図書館に来ない方を呼び込むようにしなければならないと考えている。

委 員 (1) オの重点戦略を推進する事業の中に中学生、高校生世代における読書活動の推進が挙げられているが、もう少し具体的な戦略が決まっていたらお聞かせいただきたい。

事務局 具体的な事業は決まっていないが、中学校の図書室を視察して現状を把握しなければならないと考えている。学校読書支援員による中学校への支援ができるかはわからない状況であるが、まずは現状を把握してから対策を考えたい。今年度はコロナ禍により視察ができなかったので、来年度は実施したい。高校の図書室は昨年度に視察させていただいた。具体的な対策はまだないが、柏崎高校との連携等を続けながら検討していきたい。

委 員 小学校は、学校読書支援員の様々な支援により、児童が毎日のように図書室に行って本に触れている。中学校の図書室は、中には鍵がかかっているところもあったりしてかなり利用が少ない現状である。意識の高い教員がいると、生徒が気楽に本に読むことができる環境を作っているところもある。そんな実態を確認し、方策を検討していただきたいと思う。学校読書支援員を中学校にも配置していただきたいが、なかなか難しいようなので、年に何回かでもいいので支援していただければ図書室が良くなると思う。とにかく、子どもたちには環境が大事だと考える。

会 長 いまの御意見を参考に、中学校、高校と連携してできるだけ具体的な対策が実施できるようお願いします。

事務局 承知した。

委 員 2008 年度に比べて入館者数が半減しているというのは、当館だけの現象なのか。それとも、同規模の図書館も同様なのか。同様であれば仕方がないことかと思うが。

また、事業報告の中で柏崎総合高校での読み聞かせ指導とはどういうものか。図書館でのおはなし会などは、回数のわりに参加者が少ないようなので、もっと事前に PR した方がよいのではないか。いろいろなイベントもやっていて大変忙しそうなので、効率的な事業実施のために参加者が少ないものはやめるという選択もあるのではないかと思った。

事務局 すべての図書館が入館者数を数えているわけではなく、他館の推移を正確に把握していないので正しい回答ではないかもしれないが、当館ほど減少していないのではないかと考えている。柏崎市の人口減少が大きく関係していると予想して調べてみた結果、人口減少率を上回る率で入館者数が減っていることがわかった。当館はいろいろな事業をやっているが、それが上手く伝わっていないのもっと PR していかなければならない。来年度は、SNS の活用やソフィアだよりの内容検討も行いたい。おはなし会等は、継続して定期的実施することで、それが浸透すれば、図書館に行けばおはなし会があるからと来館してくれる方もいるのではと考えているが、費用対効果の面からも検討していきたい。

委 員 お金のかからない PR の仕方もあると思う。

委 員 子育て世代には SNS での発信が効果的だと思う。紙での発信の良さもあるが、効率の

面でも検討していただければと思う。

会 長 読み聞かせは、参加者が少ないからやめるということではなく、継続してやることの大切さも感じている。ボランティアでやっていけることがあれば、なんとか継続していけるといいと思う。

## (2) 協議事項

ア 令和4年度(2022年度)事業計画について(概要)【資料(2)ア】

イ 意見交換

会 長 では、続いて(2)協議事項についてお願いします。

事務局 令和4年度(2022年度)事業計画【資料(2)ア】について説明。

会 長 御質問や御意見があればお願いします。

委 員 なし

会 長 イ意見交換に進む。協議事項だけでなく報告事項も含めて、何か御意見があればお聞かせいただきたい。

委 員 いただいた資料の半分は子どもを対象としたものである。図書館の利用者は、ほとんどが大人である。子どもは、読書支援員の活動等で読書のシャワーを浴びている。大人にどのように読書のシャワーを浴びせるか、ということも一つの問題だと思う。私は、今1階にコーナーができている柏崎刈羽に関する郷土資料を何とかもっと皆さんに見てもらおうようなことはできないかと思っている。

また、古文書のオンライン講座を開催していただきたい。

企画展の「柏崎の花」については、いろいろな団体が協力していて感動した。続けることはたいへんだろうが「柏崎の花」のような企画をまたやっていただきたい。

事務局 柏崎刈羽に係る資料については、現在特設コーナーを設けているのでぜひご覧いただきたい。大人への読書のシャワーについては、微力ではあるが、図書館にはいろいろなジャンルの本があるので、医療コーナーやビジネス支援コーナーなど、ピンポイントで訴求力のあるコーナーを設置していきたい。古文書のオンライン講座については、文書館や歴史博物館への要望は行っていきたい。我々もオンライン講座の良さを感じているところである。花の展覧会については、たくさんの方から御来場いただき感謝している。自分たちだけで開催するのではなく、皆様の協力を得て開催するのはとても大事なことで、我々の見識も広がり大変いい勉強になったと感じている。

委 員 おはなし会について、てんとうむしの会と絵本を楽しむ会は、ボランティア団体であるためこの数字も仕方ないのかなと思う一方で、それを楽しみに来られる方もいらっしゃるもので、ある程度定着してきている気がする。定期的に続けることの大切さも感じている。以前は、絵本を楽しむ会のチラシを1か月前に配っていただいていたが、今年度はそれがないということで残念に思っている。

今年度の事業報告の中で、学校との連携・支援ということで様々なことをやっているが、この数字は、コロナ禍の影響を受けたものなのか、通常のものなのかを伺いたい。コロナ禍でどのくらい縮小されたものがあるのか。

事務局 コロナ禍で縮小していることは間違いない。資料(1)イ「新型コロナウイルス感染症の対応について」の中でも挙げているが、様々な事業で延期、中止、人数制限等があった。しかし、全く無くなるということではなく、事業として定着、継続していることは幸いであると感じている。先ほど、柏崎総合高校での読み聞かせ指導について御質問があったが、これは、我々が授業で読み聞かせの指導を行っているもので、将来保育等に携わるために

は必須の授業となっている。人材育成に関わる取組みとして継続できている。

委員 ブックトーク 16 校とか読み聞かせ 18 校というのは、割合で言うとほぼ全ての学校で実施されているということでしょうか。

事務局 小学校 20 校なので、ほぼ全ての学校で実施されている。ただ、学校読書支援員が行うものは、学校からの依頼により行っているものである。

会長 ほかに御意見があればお願いします。

委員 来館者数に関しては、いたずらに数字の増加を求めるというのも少し違うのかなと感じた。図書館の役割については、すぐに答えが出る問題ではないが、ちょっとした調べ物はスマホですぐ調べられるようになり、本はメディアとして一つ古くなってしまった現状で、図書館の位置づけも変わってきているのかなとも感じた。現代の子どもは非常に忙しいし、親も送迎等で以前より忙しいと感じる中、本を手にとったり図書館に来たりする機会が持てないのも仕方がないのかもしれない。

委員 予約の取り置き期間が 1 週間になり、新刊図書の貸出しの回転が遅くなっているのではないか。なかなか新刊を手にすることができないので、何か対策があるといいと思う。

### (3) その他

会長 事務局の説明をお願いします。

事務局 当協議会委員の皆様の任期が、この 3 月 31 日で終了となる。これまで貴重な御意見をいただいたことに感謝を申し上げます。新しい委員については、教育委員会の審議を経て決定する予定である。引き続き委員を受けていただく皆様は、また来年度からよろしく願いしたい。2 年間務めていただき今年度で退任される 3 名の方から御挨拶を賜りたい。

委員 委員になって、図書館で様々な取り組みをしていることがよくわかった。子ども読書活動推進計画では、私自身、子育てをしたのが当の昔のことになり、良い意見を申し上げることができず申し訳なく思っている。これからは、利用者として本をたくさんお借りしたい。ありがとうございました。

委員 2 年間お世話になりました。委員として参加して図書館の様々な事業について知ることができた。図書館への熱い思いをお持ちの委員の皆様からも様々な意見を聞くことができ、大変勉強になった。ありがとうございました。

委員 2 年間ありがとうございました。私は、社会教育委員もやっていて、社会教育委員会の中でも図書館の施策について話が出るが、実際に図書館協議会の中でいろいろな意見を聞き、大変勉強になった。コロナ禍で利用者も減っており、これからも大変だと思いながら、これからは、一利用者として図書館を利用させていただく。

事務局 ありがとうございました。

会長 ありがとうございました。以上で議事は終了する。

### 3 閉会あいさつ（副会長）

副会長 新型コロナウイルスのまん延により、何をすることも感染症対策が必要な中、職員の皆様には御苦労があったことと思う。そのような中、新たな事業計画を聞かせていただいた。赤ちゃんから高齢者まで更に楽しく利用できる図書館となるよう願っている。

この 2 年間、図書館協議会委員として、一般の方よりも少し詳しく図書館のことを知ることが私たちは、これからも率先して図書館を利用していきたいと思う。皆様、これからも地元の図書館が市民の素敵な居場所となるよう御協力をお願いしたい。

事務局 これで令和 3（2021）年度第 2 回柏崎市立図書館協議会を終了する。ありがとうございました。